



今月の記事

理事長メッセージ

近ごろの愛の園

併設事業紹介

リレーエッセイ

10～11月の予定



「みんな違って尊い、それが働きに必要」^{理事長}宮崎靖子

神愛会・愛の園の創立45周年を祝い、9月30日に記念式を行いました。永年勤続表彰を受けた職員をはじめ、全職員に向けてのメッセージを抜粋してご紹介いたします。

「5年経つとその人の足跡が付くと教えられました。私はその5年という年月は何を示しているのだろうと長い間、自分に問うてきました。職場の働きというのは一人のものではありません。絶えず誰かと繋がっています。指導する方も、受ける方もお互い個性があって、夫々の長所、短所、裏返しから出てくる言葉、行動が理解できない、そこから起こる葛藤にお互い苦しみます。同僚との関係もスムーズな時ばかりではありません。そんな中で、その人の良いも悪いも合わせたありのまま、みんな違ってそれが尊い、それが働きにとって必要、それによってより幅が広がって行くと分かり合えて協力し合える迄には時が必要なのですね。」



私たちは一つの貴重な輪です。その輪が繋がって鎖になってこそ大切な任務が果たせます。5年間の一年一年はお互いの立場の理解と、ぶれない信頼関係が築かれていく

年月だと思ふようになりました。お互い相性の良い悪しもあります。その中で協力し合えるのは、一人ひとりの心が、一人ひとりの目が、老人福祉の為、その目的を果たす為という同じ方向を向いているから、出来るのだと思います。今表彰された方達の足跡は又次の誰かが踏んでくれる道しるべです。」

想いを新たに46年目の歩みを進めてまいります。よろしくお願いいたします。



光庭の「遠望」に飾られたススキとハギが涼やかです。

近ごろの愛の園 あんなこと、こんなこと



敬老のお祝い「一日我が家」を開催しました。おめかししてご家族と記念写真を撮り、お祝いの御膳をいただきました。また家族の会と後援会の共催によるマンドリンと尺八・琴の演奏を楽しみました。後援会からは音楽療法カラオケを、家族の会からは盛花をプレゼントしていただきました。ありがとうございました。 9/10



岩田幼稚園年少の愛組さん35名が敬老の日の訪問に来てくれました。歌と握手のプレゼントに加えて、10/8の運動会への招待状をいただきました。 9/15



1972年に創立された愛の園。45回目の創立記念日をお祝いし、15年勤続の職員3名、5年勤続の職員9名が表彰を受けました。 9/30



併設事業のご紹介(2) 「ショートステイ」

ユニットリーダー
芦谷友紀

愛の園では長期入居されている方が多数ですが、ショートステイ(短期入所生活介護)をご利用いただくこともできます。

ご家族が不在になる時や、ご利用者の方々の生活リズムの改善や気分転換のために、又は将来の入居を考えて体験してみる等々、数日間ご自宅を離れて、愛の園で生活をされています。

ご高齢の方にとり、住み慣れたご自宅を離



れてショートステイをご利用されることは、たとえ数日のことであっても最初は不安であるかと思えます。私たち職員は事前にご家族、ご利用者の方々からの聞き取りをもとに記録された「フェース

シート」を確認し、初回ご利用の方をお迎えする時は皆さんと同じように“どきどき”と、そして継続してご利用いただいている方々には“今日もお変わりないかな”と思いながらお待ちしています。ご自宅での生活と大きく変わることがないよう、お体の状態に合わせてお部屋の用意や食事の好み等、お一人おひとりそれぞれのペースを大切にしています。

自室でゆっくり過ごされる方や、リビングで親しくなった皆さんや久しぶりに出会った知人や同級生だった方との会話が弾む方など、生き生きとした様子を拝見しています。

心遣いが行き届かないことを反省することもあります。皆様「また来ますね。」とお返事いただけるよう職員一同頑張っていますのでこれからもよろしくお願いいたします。

リレーエッセイ(59) 「小さい庭」

ケアワーカー
岩本守史

僕の家には野球のホームベースぐらいの小さなスペースがあります。

最初は内柱を立てる為のスペースだったのですが、いざ立ててみると何かさみしいなと思い、草花でも植えようかと軽い気持ちでホームセンターや園芸店をまわり何種類か植えてみました。その中でも気に入ったのがコキアという木ですぐに決まりました。

本来はフサフサと葉がついて真ん丸になるそうなのですが、写真のように家のコキアはほとんど葉がなく、茎が見えてしまい、さみしくなっています。買った当初は葉も付いており、丸々としていましたが、いつの日からか写真のようになってしまいました。インターネットでいろいろ調べて対策しているつもりですが、ずっと写真の状態での先どうなるかとても心配

しています。

今まで草花を育てようと思ったことすらなかったのですが、始めてみると楽しく帰る度に「今日も元気かな」とつつい足が止まってしまう、なかなか家に上がれなくなっています。難しく考えず、元気に育ててもらえるように勉強しながらのんびりと続けていきたいと思っています。

次は設備室の松前孝典さんをお願いします。



「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

Facebookもチェック 
<https://www.facebook.com/shinaikai>

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

10~11月の愛の園

- 12(木) やまびこ会 秋の遠足
- 13(金) 福祉ネイル
- 15(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 16(月) ヨガ教室 マッサージ
- 19(木) 衆議員選挙不在者投票
- 22(日) 礼拝(聖餐式)
- 23(月) ヨガ教室
- 24(火) マリア会
- 25(水) 歯科診療
- 26(木) やまびこ会
- 27(金) 福祉ネイル
- 29(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 30(月) ヨガ教室
- 2(木) やまびこ会
- 3(金) 逝去者記念礼拝
- 5(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
運動会

編集者から

1999年から昨年までの17年間、定期的に愛の園を訪問してカプラやバルンアートで喜びと楽しみを提供してくださった、トイランドヨネクラの米倉千景さんが9/28にご逝去されました。

カプラ(フランス生まれの積木)は想像力や集中力を高めたり、自由な発想や身体の器用さを養うことができたりと、リハビリに最適なレクリエーションでした。いつも座ったままの方が積み重ねるにつれて思わず立ち上がってしまうなど印象に残る場面が数多くありました。

また、地域の幼稚園・保育園、高齢者施設で幅広く熱心なボランティア活動を続けられた米倉さんは、2009年に和歌山県社会福祉協議会からボランティア功労者として表彰されています。

米倉千景さんのご奉仕に感謝を捧げ、天国での魂の平安を心よりお祈りいたします。(A)